

ホクレン ディスタンスチャレンジ 2022

深川大会

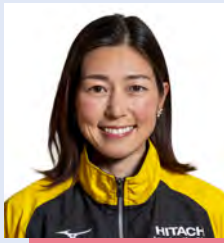
7/6(水)

北海道・深川市陸上競技場



ホクレンディスタンスチャレンジ第2戦、深川大会が深川市陸上競技場において開催されました。涼しかった第1戦の士別大会とは打って変わって、蒸し暑い中でのレースとなりました。長い故障から復帰した田村紀薫選手は5000mのA組に出場し、復帰後のトラックレース2戦目を前回レースを上回る記録で走り、順調な回復ぶりを見せてくれました。佐々木瑠衣選手、小井戸涼選手、佐々木芽衣選手、石澤ゆかり選手も記録を狙って全力を尽くして走りましたが、今回は結果には繋がられませんでした。疲労がかなり蓄積してきている状態ですが、次の網走大会に挑みます。

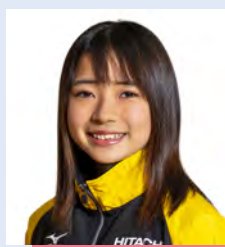
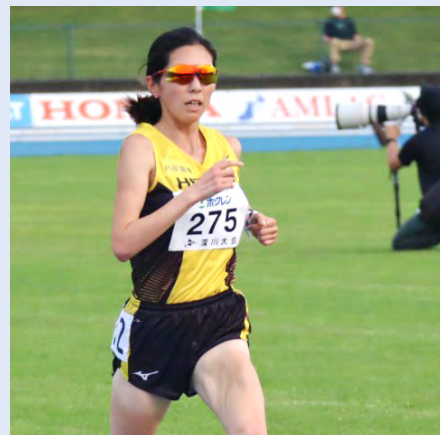




5000m A組
16分04秒51 **2位**
田村 紀薫選手の
コメント

トラックレースの復帰第2戦目となり、怪我の再発なく継続してトレーニングは積めていましたが、疲労感が抜けきらず、身体を思うように動かせない中でのレースとなりました。

それでも前回のタイムを上回り、最低限の目標であった16分05秒(9月の全日本実業団選手権参加標準記録)を切れたことで、少し自信を取り戻すことができました。次戦は網走大会となるので、今回より少しでも状態を上げ、駅伝シーズンへ繋がるレースにしたいと思います。今後とも応援をよろしくお願いいたします。



5000m A組
16分25秒00 **9位**
佐々木 瑠衣選手の
コメント

応援ありがとうございました。

今回のレースはペースメーカーが付いていたのに前半から思うように動かず、イメージしたレースができなくて、とても悔しい結果となってしまいました。

うまく力を出し切ることができずにもどかしい気持ちですが、目の前のことだけにとらわれず先を見据えながら、一戦一戦改善点を見つけ、修正しながらレースに挑んでいきたいと思います。引き続き応援よろしくお願いいたします。

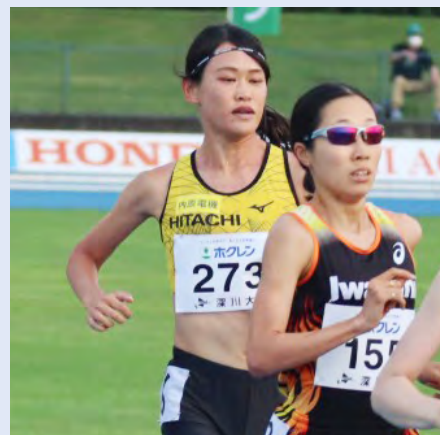


5000m A組
16分33秒16 **11位**
石澤 ゆかり選手の
コメント

前半シーズンは3000m障害のレースが続きましたが、今回は次の駅伝シーズンに向けた強化としての1戦でした。

暑さや連戦の疲労が残っており体調的にはとても厳しい状態ではありましたが、レース内容や駅伝に向けての準備も含めて色々な取り組みを試せる貴重な時期なので、うまく身体の声聞きながら次戦に備えていこうと思います。

引き続きご声援よろしくお願いいたします。





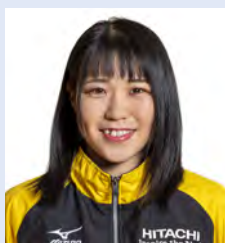
5000m A組
16分34秒82 **12位**
佐々木 芽衣選手の
コメント

今回のレースは前回よりも少しでも良い内容のレースをしようという気持ちで臨みました。

まだまだタイムとしては納得のいくものではありませんが、前回よりは冷静にレースを進めることができたと思います。

なかなか良いタイムが出せなくて悔しい気持ちが大いですが、少しの進歩を大事にして、今できることをひとつひとつ丁寧に取り組み、成長していきたいと思います。

次のレースも今回を少しでも上回れるよう頑張ります！



10000m
34分17秒80 **16位**
小井戸 涼選手の
コメント



ホクレン深川大会の応援ありがとうございました。

1番タイムを狙ったかった10000mで思うような走りができなくてとても悔しい気持ちでいっぱいです。

現状を真摯に受け止めて、ホクレンDC大会の残り2戦は5000mに

出場する予定なので今回の悔しさを挽回できるように、今できる精一杯を出し切れるよう準備していきます。

引き続き、応援よろしくお願いたします。

応援ありがとうございました!!



日立女子陸上競技部事務局